

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月15日(木) 14:00～15:30
- 3 開催場所 岐阜工業高等学校 記念館大会議室
- 4 参加者

会 長	高森 幹啓	地域住民代表
副 会 長	横山 克徳	本校同窓会副会長
委 員	小川 豊	岐阜工業高校 育友会会長
	亀井 孝宏	(株)光製作所(地元企業)
	細野 芳勝	名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
	田島 安子	地域住民代表
	智原 美智子	岐阜工業高校育友会副会長
	山田 愛子	地域住民代表
学 校 側		
	堀 秀樹	校長
	関谷 博子	事務部長
	小里 靖	副校長
	藤原 竹志	教頭
	永瀬 直哉	教頭
	阿部 光明	教務主任(全日制)
	高橋 宏幸	教務主任(定時制)
	山口 敦	生徒指導主事
	前川 隆英	進路指導主事
	草壁 善則	工業教育部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 全日制、定時制における、各分掌からの自己評価及び学校関係者評価について
 - ・教務部、生徒支援部、進路支援部からの自己評価の報告
 - ・特色ある取組
 - ・地域連携
 - ・部活動

(2) 本会の中で出された意見

意見1：令和5年度に行われた2回の学校運営協議会にて、授業や研究発表会にて活躍している生徒の姿を見ることができて、いい機会となったことに感謝している。コロナウイルス感染症が5類となり、部活動の合宿等も再開されたことにも感謝している。

意見2：進学にも力を入れるとのこと。現在は就職の状況もよいとのこと。4年制大学卒業後では就職することが難しい企業からの求人もあるようなので、進学するなら「目的」が必要になる。地元企業でインターンを多く受け入れているが、実際に就職につながっていないのが残念である。

意見3：購買部を担当させてもらっている。おとなしく、よい生徒が増えた感がある。下宿している飛騨からの生徒を預かっている。大学へ進学するなら「目的」が必要になる。

意見4：「満足度日本一」をうたっている学校なので、生徒はもちろんだが、そこで働く先生方も「満足度日本一」であってほしいと願っている。その視点も大切にしてほしい。進学に向けて、数Ⅲは必要だと思うし、社会に出てからは数学の力や応用力学が必要になってくると考える。高校では「地域とのつながり」というのは難しい所ではないか。

意見5：耐寒強歩大会（R5は雨天のため中止）、運動会の応援合戦といった、生徒が嫌がるような行事がなくなっているのが残念。なぜならそれが「思い出」として残るから。コロナ禍をきっかけに、いろんな行事が廃止されているが、生徒の思い出となるものまでをもなくすのは違うと考えている。もう一つは「部活動」と「働き方改革」の両立が持続可能かどうかである。

意見6：笠松駅での、岐阜工業高校生の立ち居振る舞いは悪くない。進学についても応援している。新入生の定期券購入についても協力していきたい。

意見7：子どもの数が減少する中、令和6年度に岐阜工業高校への出願者数が増えているということは、岐阜工業高校の魅力が中学生にうまく伝わっていることであり、誇らしいことである。

意見8：岐阜工業高校の記事を新聞で見られると嬉しい思いになる。ぜひ、定時制からも記事が載せられるように頑張ってもらいたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会において、コロナウイルス感染症が5類になり、学校の活動が活性化したことについては一定の評価をいただいた。進学にも力を入れていきたいことや部活動の在り方については、本校の根幹となるところであるため、慎重かつ継続的に審議が必要であることを感じた。